LOA 導入・実践報告

2012.2.17

実 践 者 氏 名	恩田　將人　様	地　　域	長野県東御市
業 種 ・ 業 態	農業	生 産 品 目 等	ブドウ、リンゴ、他
LOA の導入時期	2008.9	LOA 導入内訳	アースパワー、グランドバイオ、G-EEn

（報告者：春口　博二）

【LOA 導入前の問題・課題・状況】

・果樹栽培を始めてから今日まで長年取り組んできたことは、「いいものを作れば、お客は付く」という信念のもとで、土づくりに、植物の身になってやってきた。今では営業に出かけなくても、ブドウもリンゴも実を付ける前に完売できるようになってきた。そのために、いいと判断したものは高価な資材（土壌改良材や肥料）でも投入してきた。高価な資材でも結果が付いて来ればいいが・・・。

・それでも、病気や害虫との闘いに終わりはない。年によっては惨憺たる時もあり、他の果樹園との優位差はあっても、自ら納得できる内容を継続することは難しい。

【LOA 導入後の経緯・状況・結果】

恩田園では環境エネルギーを貴める為に LOA(LIGHT OF ARCHE)資材を 3 年前から適宜導入・使用してきた。

また、肥料についても LOA とは別のものも研究、検討しつつ使ってきた。いいと思えるものは積極的に導入して、今日より明日、今年より来年、と常にいいもの（果樹）を作るための努力は惜しまずやってきた。
そして、食べて頂くお客様の健康と笑顔を見ることが一番の楽しみである。唇が腫れた方（女性）が、ブドウを一粒口にするや否や良くなったという話を聴いて嬉しくなった。

LOA を使うことで、農薬を使用してもその農薬のマイナスを残さないことが判った。JA の指針（防除暦）に沿って農薬を散布したブドウであっても、残留農薬（210 項目）が全く検出されなかった。とは言っても、農薬を減らし、使わずに栽培することも大きな目標の一つである。先ず、今年は農薬の使用量を今までの 1／2 にすることにした。

【検査日・検査機関】
平成 23 年 10 月 6 日
株式会社　環境研究センター
食品安全検査事業部
茨城県つくば市妻木 210-4

【考察・評価・今後の指標】

・これは他の果物（りんごやプルーン）でも同じ結果が出ています。正に環境エネルギーが高まることによって、物質（農薬）が中和し、自然と調和することの証明と捉えています。環境エネルギーの貴いミネラル、微量要素、酵素、堆肥の継続的投入で「医食同源」的な果物の生産をお願いします。

・恩田園の環境エネルギーの高さから、農薬を半分に減らすことに問題はないと思います。農薬散布の時期（タイミング）と量、グッド EEn の葉面散布の対応で年々減らして頂ければ嬉しい限りです。
皮ごと丸かじりできる安全で美味しいブドウやリンゴを戴ける収穫の時が楽しみです。